

組立説明書

このたびはコイズミ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この組立説明書をよくお読みのうえ、安全に正しく組立してください。
 ご使用のまえには取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
 保証書はお買い上げ日、販売店名の記入を確認し、組立説明書といっしょに大切に
 保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

●取り扱いを誤った場合に想定される危害・損害の程度を示しています



警告

「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。



注意

「傷害を負うまたは物的損害発生の恐れがある」内容です。

●お守りいただく内容を示しています



禁止

「行ってはいけない」内容です。



必ず守る

「行わなければならない」内容です。

注意

●組立および設置時の注意



禁止

組立および解体に電動ドライバーは使用しないでください。
 →ボルト頭がつぶれて締め付け、取り外しができなくなる恐れがあります。



禁止

直射日光のあたる場所やヒーター、エアコンなどの温風が直接あたる場所への設置はおやめください。
 →変形、変質、退色の原因となります。



必ず守る

回転いすは組立完成後に脚ベース、座高調節シリンダー、座板がしっかりと固定されているか必ず確認してください。
 →固定が不十分なままですと、イスを持ち上げた時に脱落してけがや破損する恐れがあります。

BestFitChair

【品番】

●CDY-661 LP

●CDY-662 LB

●CDY-663 PR

●CDY-664 PB

●CDY-665 BKNB

●CDY-666 BKMB

ベストフィットチェア

各部の名称



《構成部品》

	部 品 名	数量
①	背板	1
②	座板	1
③	座高調節シリンダー	1
④	足置き	1
⑤	足置き用ノブボルト	1
⑥	脚ベース	1
⑦	組立てボルト	4

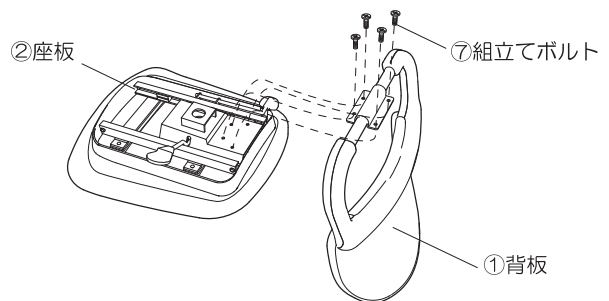
イラストは実際の商品と多少異なる場合があります。

組立方法

1. 背板と座板の組立

①背板と②座板を⑦組立てボルト4本でしっかりと固定してください。

① 組立てボルトは回らなくなるまでしっかりと固定してください。
→背板がはずれて、けが、破損の原因になります。



2. 座板と座高調節シリンダー、脚ベースの組立

⑥脚ベースの上から③座高調節シリンダーを差し込んでください。

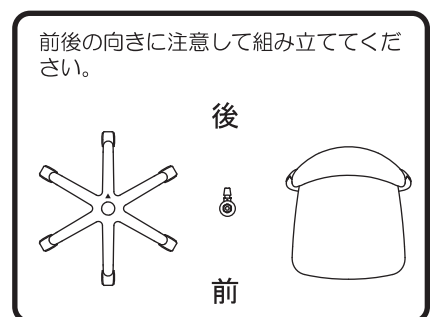
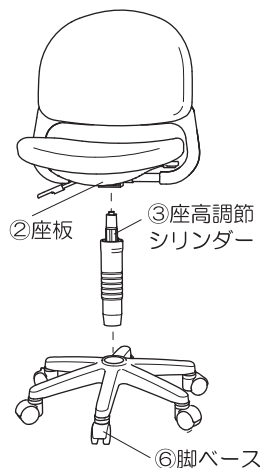
※この時、脚ベースの方向指示シールと座高調節シリンダーの座回転止めノブの方向を合わせてください。

③座高調節シリンダーの上から1で組み立てた座板を差し込んでください。

※この時脚ベースの方向指示シールと座板の向きを合わせてください。

① 座板を下まで下げて体重をかけて強く座り、脚、シリンダー及び、座をしっかりと固定してください。
→座板がはずれて、けが、破損の原因になります。

⊗ 座の上に立たないでください。
→倒れて、けがをする原因になります。



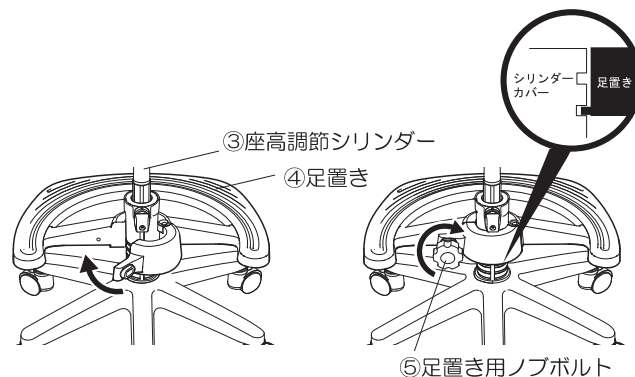
組立方法

3.足置きの取付け

⑥脚ベースと③座高調節シリンダーの外側のカバーの間にすきまが無いように、シリンダーカバーの位置を調節してください。
 ③座高調節シリンダーのカバーのみぞに④足置きの内側の突起を合わせてはさみ込んでください。
 その後、足置きのすきまが無くなるまで⑤足置き用ノブボルトをしっかりと締め付けてください。

※この時足置きの向きに注意して取り付けてください。
 足置きは椅子に座った状態で膝が直角になるくらいの位置に取り付けてください。

⑦足置きの上に立ち上がったり、飛び乗ったりしないでください。
 →落下、転倒し、ケガをする原因になります。



使用方法

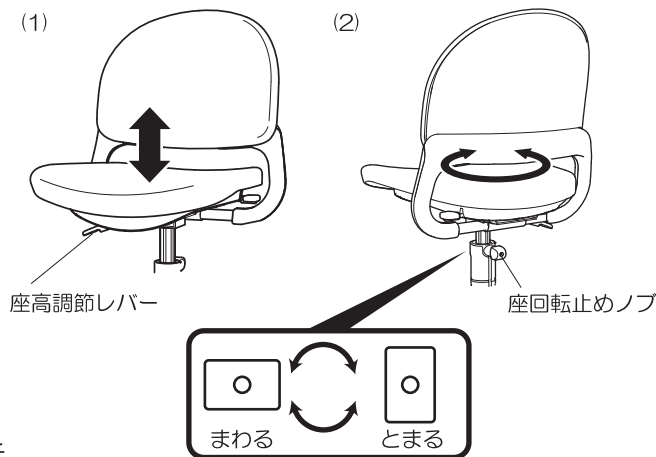
《座板の高さ調整・回転止めのしかた》

(1) 座ったまま座高調節レバーを持ち上げると座はさがり、腰をうかせて座高調節レバーを持ち上げると座はあがります。適切な位置でレバーを離すと座板高が決まります。

※体重によってはこの限りではありません。

(2) 座回転止めノブを縦向きにするとストッパーがかかります。カチッと止まる位置まで座板を回してください。

⑧座の上に立たないでください。
 →倒れてけがをする原因になります。



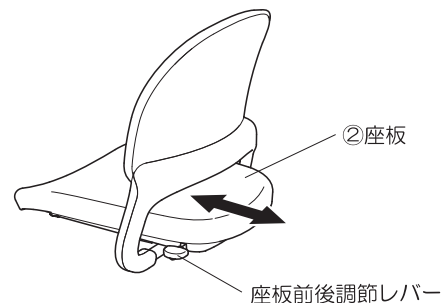
《座板の前後調整のしかた》

座板前後調節レバーを持ち上げた状態で座板を前後に動かし、カチッと止まる位置で固定してください。

《足置きの高さ調整・着脱のしかた》

組立て方法3と逆の手順で足置きを取り外してください。
 高さ調整は座高調節シリンダーのカバーの溝の位置に合わせて足置きを取付け直してください。

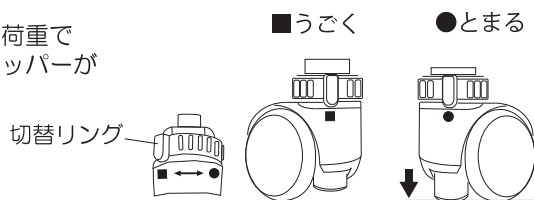
⑨足置き固定の際は必ず足置き用ノブボルトが回らなくなるまで強く締め付けてください。
 →動いてけがをする原因になります。



《ストッパー切替レバー付キャスターについて》

切替リングを回しレバー先を■側に合わせますと、ストッパーが掛からず車輪が回転します。

レバー先を●側に合わせますと、荷重でキャスターの軸が沈み込んでストッパーが掛かり車輪の回転が止まります。



⑩着座している状態でリングを回さないでください→指をつめてケガをする原因になります。

○お子様の足が床に着かない間は、ストッパーが掛かる状態での使用をお勧めします。その際、安全のため全てのキャスターのストッパーが掛かる状態でご使用ください。

○体重が軽い場合、車輪の回転止めが作動しない場合があります。

